

日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

2008年 8月 9日
 (平成20年)
 13版名 土曜日 (先頁)

日刊スポーツ新聞社
 名古屋市中区栄1の3の3
 〒460-0008 ☎052(231)1160(代表)

定価1部120円
 月ぎめ3260円

©日刊スポーツ新聞社 2008
 (日刊)第20920号
 昭和24年2月14日第三種郵便物認可
www.nikkansports.com

日本人アートディレクターが開会式彩った

水谷氏の「子供の笑顔写真」1千枚超

開会式で、子供たちの笑顔が登場した。撮影したのは、アートディレクター水谷孝次氏(57)。世界中の笑顔を伝える活動「メリープロジェクト」を通じて撮り続けた写真1644枚を、式典総監督の映

画監督、張芸謀(チャン・イーモウ)氏に提供した。

8日、東京・六本木ヒルズで始まった「メリーガーデン」の写真展覧会で、水谷氏は「21世紀に大切なのは笑顔の交流。新しい中国の文化を

世界に発信できるチャンスで、一翼を担わせてもらえた」と話した。

昨夏、張氏が子供たちの笑顔を募集していることを知り作品提供を申し出た。同年末に会うと「私たちがやりたかったことを、もうあなたはやってた。いい笑顔の使い方

を教えてもらった」と伝えられた。先月下旬、写真1100枚を使用すると手紙が届いた。「開会式に輝きがよりの層増えた」とも記されていた。

水谷氏はこれまで多くの企業広告に携わり、フランク・シナトラら著名人とも仕事をしたが、最近では「世界の1人1人をもっとメリー(幸せ)にする活動に軸足を移した。阪神淡路大震災後の神戸や同

開会式で披露された子供たちの顔がプリントされた傘(撮影・田崎高広)



時多発テロ後のニューヨーク、途上国などでレンズを構えた。

「鳥の巣」に登場した笑顔の持ち主は、途上国で出会った子供たち。「笑顔は、負の

マイナスをプラスに変える。生きるのに必死な彼らにスポーツが当たってこそ、平和の祭典の意味がある。イーモウはそれを分かってくれた」と話した。